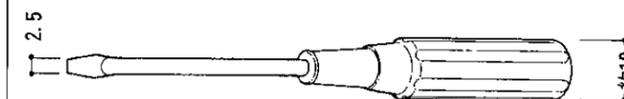


■お願い……

- 工事を始める前にこの説明書をお読みにになり正しく施工してください。
- 1台の壁スイッチ及びアダプタで複数の商品の開閉はできません。
- 屋外や浴室など湿気の多い場所には、取り付けないでください。
- 直射日光の当たる所や、暖房器など熱源に近い場所には取り付けないでください。
- 腐食性ガスや可燃ガスの発生する場所及び、薬品を常時使用するような場所には取り付けないでください。
- 配線工事は、電気工事店さまにご依頼ください。
- 作業は、作業者の静電気を放電してからおこなってください。静電気で電子回路が破壊することがあります。水道管等にさわって放電してください。
- スイッチボックス・パネル押さえ金具は、市販品をご使用ください。
- 配線は、必ず付属のケーブルをご使用ください。
- 取付け完了後、必ず試運転を行い開閉を確認してください。
- アダプタ(EASY203)チャンネルの設定及びセントラルコントローラー(EASY101)の試運転は別途「電気工事のご案内」をご覧ください。

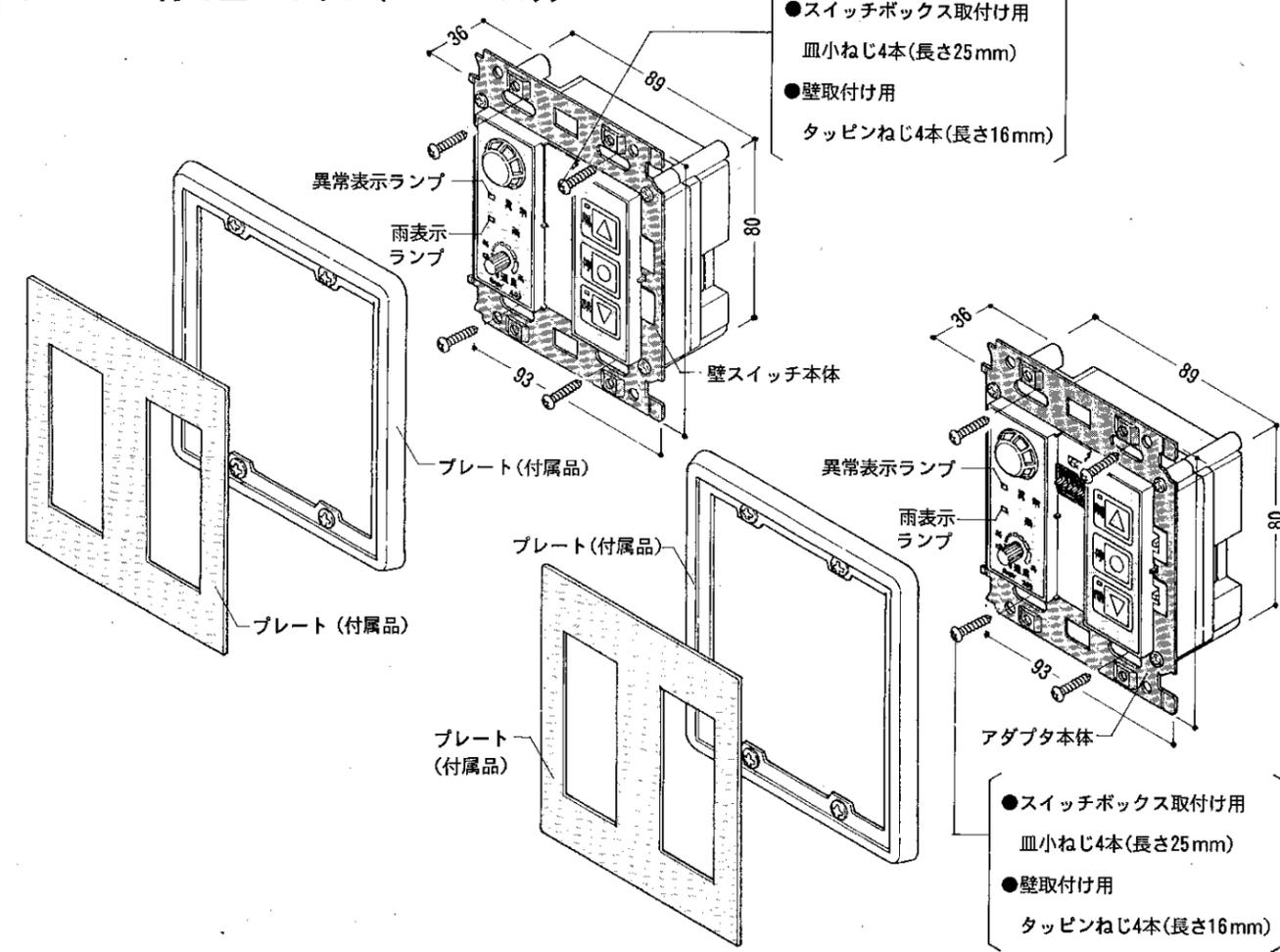
■マイナスドライバーの種類

ケーブルを接続する場合、柄径10mm程度のドライバーを使用してください。
過剰なトルクで締めつけますと、接続端子が破損することがありますのでご注意ください。



■各部名称及び部品明細

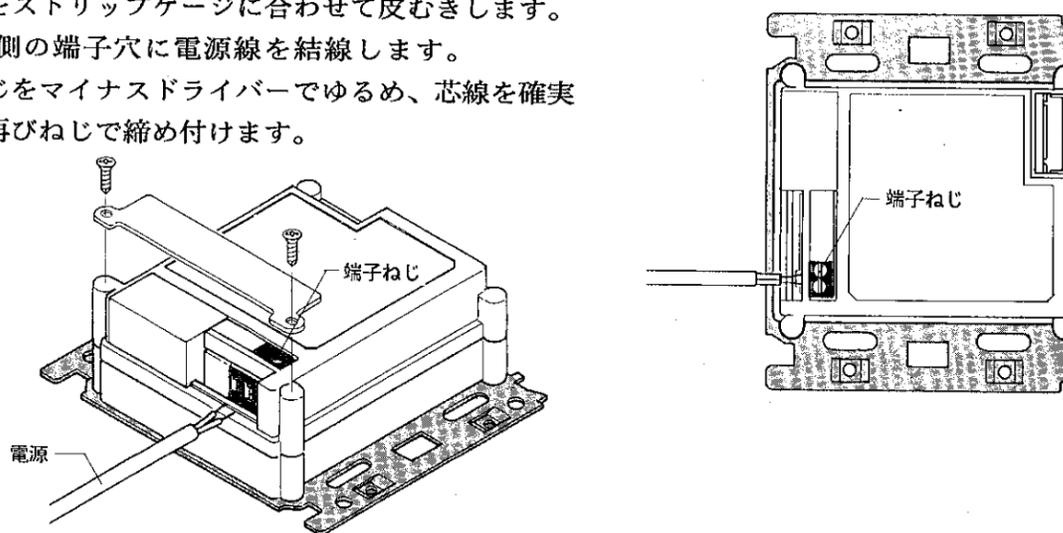
【センサー付き壁スイッチ(EASY403)】



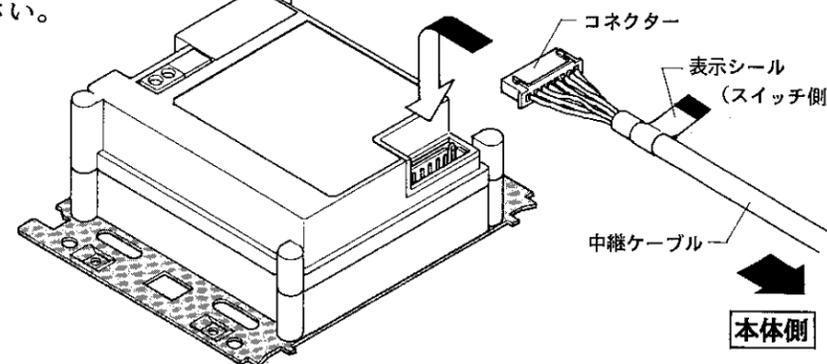
【センサー付きアダプタ(EASY203)】

■ケーブルの接続

- ①保護カバーをはずします。
- ②電源ケーブルをストリップケージに合わせて皮むきします。
- ③壁スイッチ裏側の端子穴に電源線を結線します。
まず端子のねじをマイナスドライバーでゆるめ、芯線を確実に差し込み、再びねじで締め付けます。



- ④中継ケーブルのコネクターを壁スイッチに差し込みます。この場合、コネクターについている突起がきちんと入るまで押し込んでください。
※余分な中継ケーブルは、壁内できちんと固定してください。
- ⑤結線後、保護カバーを再び取り付けます。



■取付け手順

■スイッチボックスを使用する場合

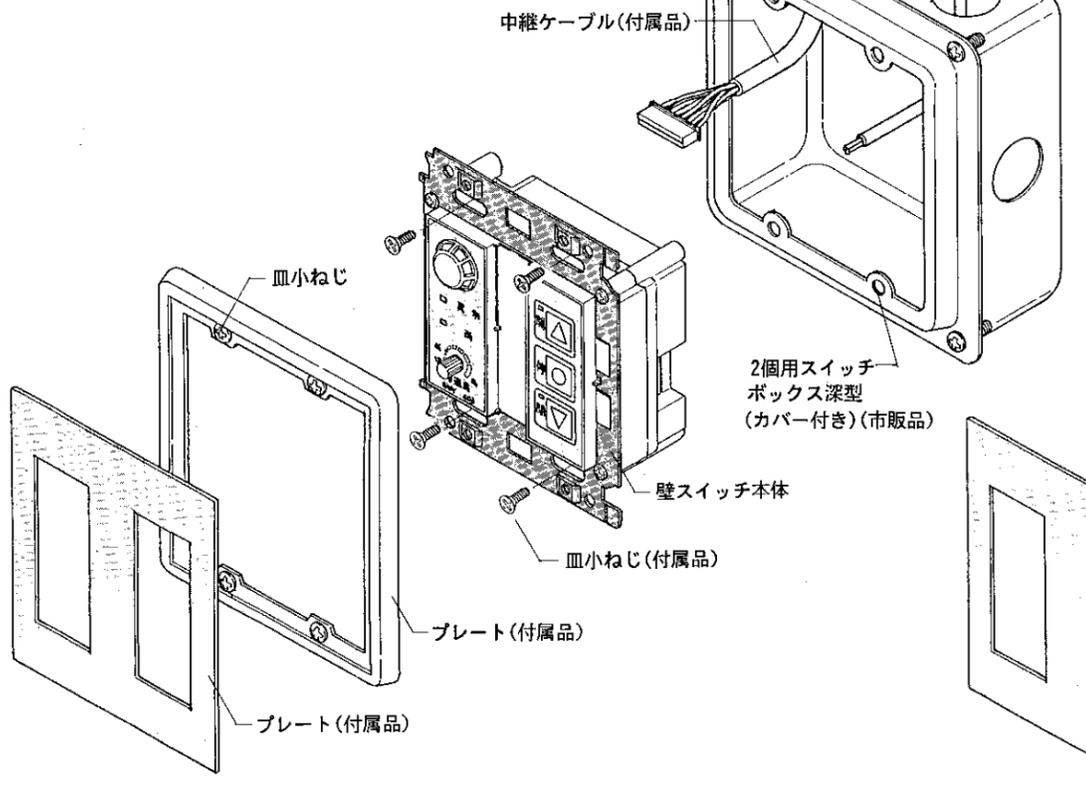
- 本機1個取り付ける場合、2個用スイッチボックス深型

■壁に直付けする場合(壁パネルの厚さが10mm以上必要です。)

- ①右の型紙を使用して壁に取付け穴をあけます。

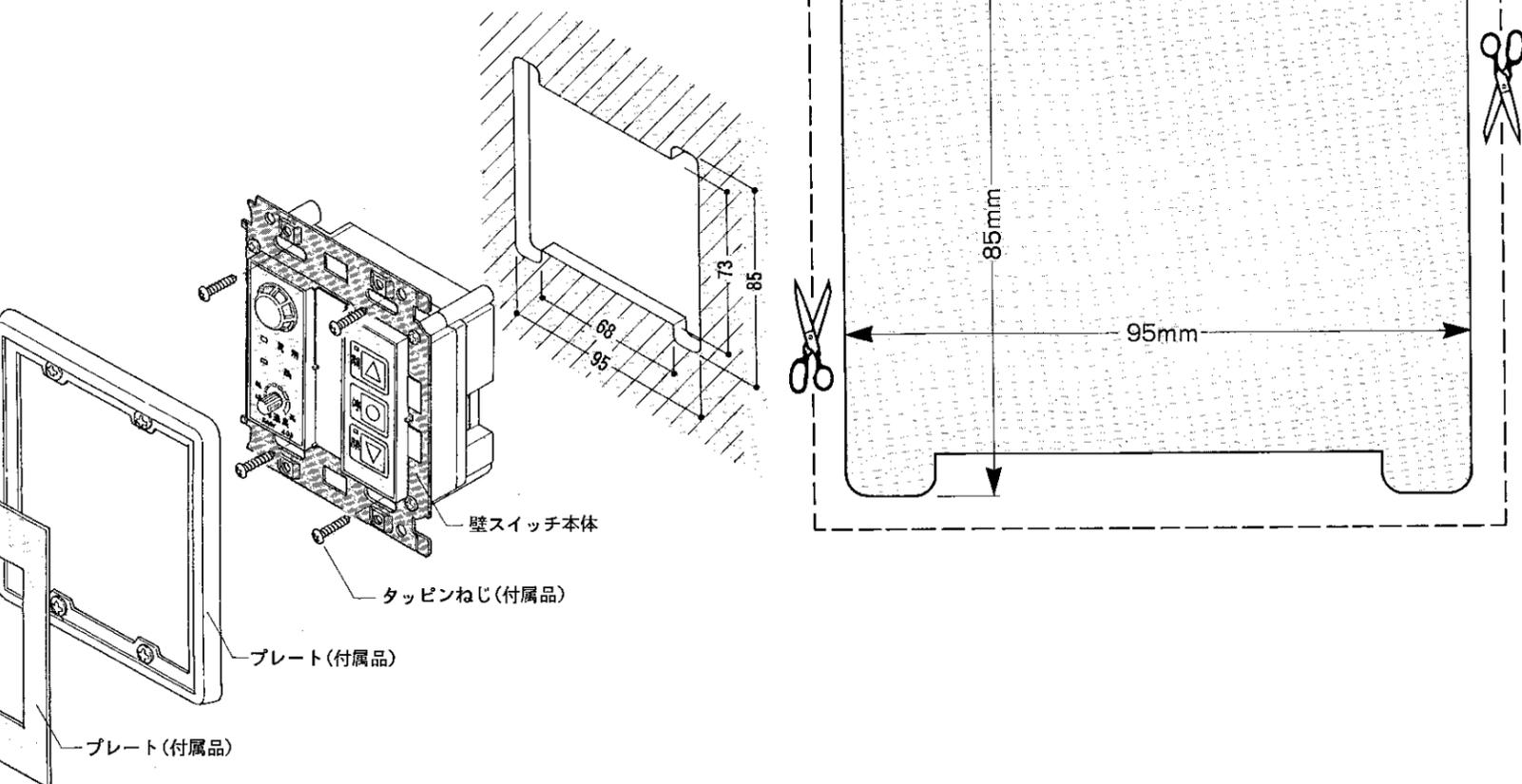
■スイッチボックスを使用する場合

- 本機1個取り付ける場合、2個用スイッチボックス深型（カバー付き）をご使用ください。（別途市販品）
- ※スイッチボックスの奥行きが44mm未満の場合、本機は取り付けられませんのでご注意ください。



■壁に直接取り付ける場合

- ①右の型紙を使用して壁に取付け穴をあけます。
- ②壁スイッチ本体を付属のねじで止めます。
- ③プレート(付属品)を取り付けます。



■壁スイッチを2個以上併設する場合

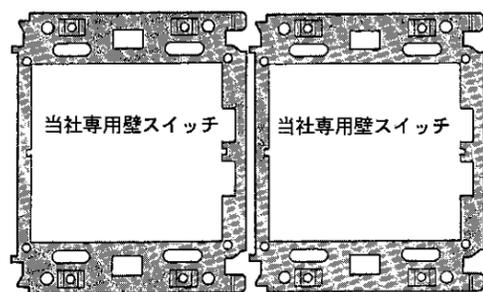
1.専用スイッチの場合

それぞれの金具が、ぴったり合うように組み合わせて取り付けます。この場合、プレートは別途市販品をご使用ください。（図-1）

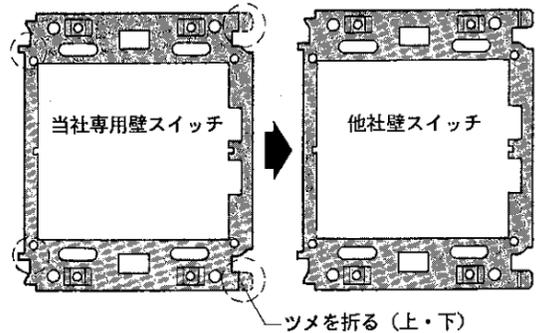
2.他社の壁スイッチと組み合わせる場合

当社専用壁スイッチのツメ(上・下2ヶ所)を折り取って組み合わせます。（図-2）

(図-1)当社専用壁スイッチの場合



(図-2)他社の壁スイッチと組み合わせる場合



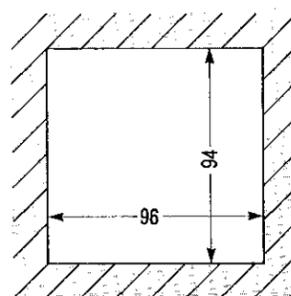
■パネル押さえ金具を使用する場合

(パネル押さえ金具は、東芝ライテック製平形パネル押さえ金具 DG4361 をご使用ください。)

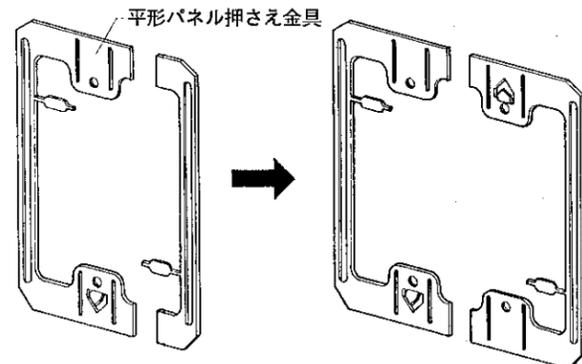
- 本機1個取り付ける場合、平形パネル押さえ金具が2個必要です。

- ①壁穴あけ寸法に従って壁に穴をあけます。
- ②平形パネル押さえ金具を切断溝から切断します。（図-1）
- ③平形パネル押さえ金具の突起をドライバーなどで壁に食い込ませます。次につき出し金具を手前に折り曲げて仮固定します。（図-3）
- ④ケーブルを壁スイッチ本体に接続し、平形パネル押さえ金具に付属の小ねじで壁に取り付けます。
- ⑤つき出し金具を折り曲げるか、ペンチで切断します。
- ⑥プレート(付属品)を取り付けます。

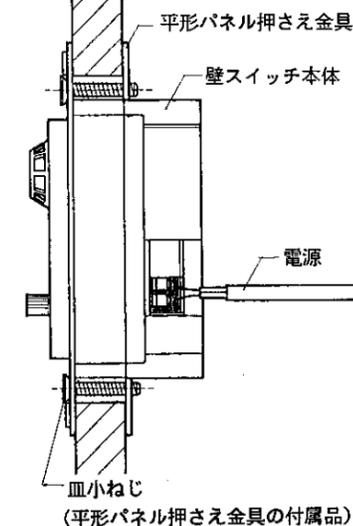
【壁穴あけ寸法】



(図-1)



(図-2)



(図-3)

